

---

# 恋愛布告/カカシカ

深海

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

恋愛布告／カカシカ

### 【Nコード】

N6620A

### 【作者名】

深海

### 【あらすじ】

BL注意。公園でイチャパラを読むカカシの前に現れるシカマル。

公園のベンチでイチャパラを読んでいる力カシ。

だが、いつものにやけた顔は見られず本にも集中できていないように、何度も前方に視線を向ける。

そこには地面にあぐらをかいて座り、頬杖についてじっと力カシを見つめるシカマルがいた。こう見られていては、集中などできないだろう。

だがそわそわと落ち着きがないのには、他にも理由があつた。

「好きなんだけど」

力カシの前に突然現れたシカマルがこう言ったのは、かれこれ三十分程前。そして何も返事をしない力カシの前に、シカマルが座り込んでしまい、今に至る。

「なあ、聞こえてないわけねーよな好きだって言っただけ」

カカシは内容などさっぱり入ってこなく、ただ規則的にページを捲っていただけの本を閉じた。

「あのねえ……俺男だよ？」

「知ってる」

「大分年上なんだけど」

「わかってる」

「えーと……」

他に何かないかと必死に考えるが適当な言葉は出てこず、言葉に詰まったカカシは再び本を開いた。

「あ……」

だが、すぐにシカマルに取りあげられてしまい、横に置かれる。カカシは真っ直ぐなシカマルの目を見れずに、視線を泳がせた。

「なあ、なんで動揺してんだ？」

「これは……」

「なんではつきり断らねーんだ？」

「それは……」

まだ成人もしていない子供に詰め寄られ、冷や汗すらかくカカシ。

「断らないってことは、脈ありって思っているんだよな？」

カカシが黙って頷くと、シカマルは口端を吊り上げて笑い、カカシに背を向けた。

「じゃあ今日は帰るこれから覚悟しとけよ」

シカマルがひらひらと手を振りながら行ってしまつと、カカシは大

きく息を吐き力が抜けたようにベンチに横になった。

「俺って大人のくせに臆病だね」

クスクスと小さく笑うカカシ。彼を思わせる青い空と白い雲を見上げて、嬉しそうに微笑んだ。

f i n

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6620a/>

---

恋愛布告/カカシカ

2010年10月20日19時55分発行